



学校給食に地場産物を

～全国学校給食甲子園で県代表として表彰

■地場産物を生かした学校給食の献立をつくり、郷土を代表する料理を競う『全国学校給食甲子園大会』で給食センターの瀬戸光代栄養教諭の献立が県代表として選出され、11月6日、福岡県で表彰式が行われました。大会には県内から約200人の栄養教諭が応募、その中から3人が県代表として2次審査に進みました。

瀬戸教諭の献立は『鶏肉とゴーヤの梅風味あえ』のほか、なすやじゃがいもが入った『枕崎野菜のみそ汁』など、地元の野菜をふんだんに使用したものです。

2次審査の結果、惜しくも決勝大会に進むことはできませんでしたが、給食センターと地元生産者として組織する『学校給食野菜供給検討会』などの取り組みの成果が表れた結果となりました。

瀬戸教諭は「学校給食をとおして、地場産物のすばらしさを子どもたちに伝えていきたい」と話していました。



つけましたか？ 住宅用火災警報器

～住宅用火災警報器設置促進街頭キャンペーン

■住宅用火災警報器設置促進街頭キャンペーンが秋の火災予防期間中の11月9・10日の2日間、枕崎駅前周辺で行われ、枕崎消防署員のほりを手に、設置を促すチラシとポケットティッシュを通行人に配り、住宅用火災警報器の設置を呼びかけました。

住宅用火災警報器は来年の5月31日までに設置する必要があります。詳しくは、枕崎消防署までお問い合わせください。

◎枕崎消防署 TEL72-0049

児童と高齢者との温かなふれあい

～別府小学校児童と高齢者とのふれあい交流活動

■毎年恒例となっている別府小学校児童と地域の高齢者とのふれあい交流活動が11月5日、別府小学校で行われ、4年生19人と高齢者36人がグラウンドゴルフや給食試食会をとおして交流を深めました。この交流会は、11月1日から7日までの「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」の期間中に毎年開催されています。

参加した真茅聖輝くんは「グラウンドゴルフでは、打ち方のコツを教えてもらった。次するときは上手いのかも」と話してくれました。



夢を持ち続け あきらめないで

～枕崎高校青春講演会で宮下純一さんが熱弁

■枕崎高校青春講演会が10月29日、同校で開催され、北京オリンピック競泳銅メダリストの宮下純一さんが生徒たちに夢を持ち、あきらめないことの大切さを熱く語りかけました。

宮下さんは、小さな頃は顔も洗えないほどの水嫌いだっただことや、中学生のときに水泳をやめたいと何度も思ったことなど自分の経験にふれ「夢が叶ったのは続けてこれたから、夢を持ち続け、あきらめないでほしい」と訴えました。また、生徒の席まで歩み寄り質問をするなど、生徒たちにとっては、一流のアスリートと間近で接することのできる絶好の機会となりました。

講演を終え、生徒たちからは「思い続けることの大切さを学んだ」「やってみようと思った」といった声が聞かれました。



片道12キロ『勉学の道』を歩く

～小原國芳先生『勉学の道』歩こう会

■桜山地区公民館主催の「小原國芳先生『勉学の道』歩こう会」が10月30日に行われ、桜山校区から小・中学生と保護者あわせて72人が参加しました。

『勉学の道』は、東京にある玉川学園の創立者である故小原國芳先生が12歳のとき、実家（現在の南さつま市坊津町久志）から桜山尋常高等小学校（現在の桜山小学校）まで通学した片道約12キロの険しい山道です。

歩こう会参加者は、久志から出発し、小原國芳先生顕彰の碑が建っている桜山小学校までの約12kmを3時間ほどかけて歩き、小原先生の学問への情熱と不屈の精神を身をもって感じ取っていたようでした。



風の芸術展イメージソング売上金を寄付

～RENSが市文化振興基金に寄付金

■風の芸術展のイメージソング『アートストリート～風からの伝言～』を歌う本市を代表するバンドの一つ『RENS』が、芸術展会期中に南浜館などで販売した同CDの売上金10万円を市文化振興基金に寄付、その贈呈式が10月23日、お魚センターで行われました。

メンバーの新屋敷彰さんは「風の芸術展の次回開催に少しでも役に立てればという想いで寄付しました。これからも市民のみなさんと一緒に芸術展を盛り上げていけたら」と話していました。あたたかいお心、ありがとうございました。

◎写真は『RENS』の新屋敷彰さん（左）、三好恵子さん（右）と神園市長



農業祭



新酒まつり

秋祭りで盛り上がる

～『農業祭』『新酒まつり』盛大に開催

■『農業祭』と『新酒まつり』が10月31日に開催され、それぞれの会場は多くの人出で賑わいました。JA南さつま枕崎支所で開催された『農業祭』では、北山たけし歌謡ショーや農産物の即売会などがありました。薩摩酒造株式会社明治蔵で開催された『新酒まつり』では、初めて白波五人男が歌舞伎のいでたちで登場したほか、恒例のふるまい酒や地元バンドによるステージなどがありました。



お魚センターの水槽がきれいに

～鹿児島水産高校生徒が水槽清掃

■鹿児島水産高校の生徒によるお魚センター水槽の清掃作業が10月22日に行われ、海洋科栽培工学コース3年の栗野巧大くんと坂本拳史郎くんが、お魚センターの天井裏にある水槽入口から酸素ポンペを担ぎ潜水、約1時間の作業で水槽の内側についた汚れを次々にこすり落としていきました。

同校では、月1回ほど潜水実習を兼ねてこのような清掃作業を行っています。